

Q 5. 【回答票 5 (写真 A ~ G)】ここにあげる広報で、あなたが見たことがあるものを教えてください。

| | (ア) 見た | (イ) 見たような気がする | (ウ) 見ない | |
|------------------------------------|-----------|------------------|------------|---|
| 写真 (A) : 車体広告 (電気自動車) | 1 | 2 | 3 | ⑰ |
| 写真 (B) : 雑誌「smart」あるいは「JJ」 | 1 | 2 | 3 | ⑱ |
| 写真 (C) : 雑誌「POPTTEEN」 | 1 | 2 | 3 | ⑲ |
| 写真 (D) : 電車内広告 (東京山手線/大阪環状線) | 1 | 2 | 3 | ⑳ |
| 写真 (E) : 屋外広告板 | 1 | 2 | 3 | ㉑ |
| 写真 (F) : 東京都ポスター (マサト) | 1 | 2 | 3 | ㉒ |
| 写真 (G) : 東京都ポスター (感染増加) | 1 | 2 | 3 | ㉓ |

Q 6. 【回答票 6】昨年 7 月に、政府は、サッカー日本代表のゴールキーパー^{ならぎませいご}榎崎正剛選手による「ストップ・エイズ」の予防啓発をいろいろなテレビ番組を利用して広報しました。あなたは、榎崎選手による「しっかりした知識と行動で守ることができる筈なんだ」という広報を見たことがありますか。

- 1 (ア) テレビコマーシャルで榎崎選手がエイズ予防のことを話している広報を見た
- 2 (イ) テレビコマーシャルで誰かわからなかったがエイズ予防のことを話している広報を見た ⑳
- 3 (ウ) そのような広報はどこでも見たことがない

Q 7. 【回答票 7】昨年、政府は、携帯電話の WEB (ウェブ) を利用して、「正しい知識と行動でエイズ予防」の見出しで、次のようなエイズ予防啓発を広報しました。「H I V の感染が増えています。感染のほとんどが性行為によるものです。エイズやクラミジアなどの性感染症を予防するため、コンドームを正しく使いましょう。」

あなたは、この広報を携帯電話で見たことがありますか。

- 1 (ア) 夏 (7 月頃) に見たことがある
- 2 (イ) いつだったかは忘れたが、見たことがある ㉑
- 3 (ウ) エイズに関する携帯電話の WEB (ウェブ) は見たが、その政府広報であったかはわからない
- 4 そのような広報は携帯電話で見たことがない

Q 8. 【回答票 8】昨年、政府や (財) エイズ予防財団は、街頭キャンペーン (渋谷や新宿)、国民を対象にしたシンポジウムなどを通じてエイズ予防を呼びかけました。こうした取り組みについては、テレビや新聞なども取り上げてニュースとして報道をしました。

あなたは、こうした普及啓発事業に関する報道について、次の中であてはまるものがありますか。あてはまるものをいくつでもあげてください。(M. A.)

- 1 (ア) 7 月頃、東京・渋谷でコンドームを配布したキャンペーンに関する報道を見たことがある
- 2 (イ) 8 月頃、同性愛者を対象にした啓発センター開設に関する報道を見たことがある
- 3 (ウ) 10 月頃、日本のエイズ対策に関するシンポジウムの報道を見たことがある
- 4 (エ) 12 月頃、飯島 愛さんが新宿でエイズキャンペーンをしたことの報道を見たことがある ㉒
- 5 (オ) 12 月頃、新宿でコンドーム配布をしたキャンペーンに関する報道を見たことがある
- 6 (カ) (ア) ~ (オ) のような報道は見たことがない
- 7 (キ) 昨年までと比べてエイズに関する報道が多くなったと思う
- 8 (ク) エイズに関する報道はあまり多くなったとは思わない
- 9 昨年は、エイズに関する報道は見たことがない

Q 9. あなたはエイズに関心がありますか。



S Q. 【回答票 9】その理由をこの中からいくつでもあげてください。(M. A.)

- | | |
|--------------------------------|--------------------------|
| 1 (ア) 世界で問題になっているから | 6 (カ) 自分も感染する可能性があると思うから |
| 2 (イ) 日本でも感染者が増えてきているから | 7 (キ) 感染が不安になったことがあるから |
| 3 (ウ) エイズや性感染症の教育を受ける機会が多かったから | 8 その他 () |
| 4 (エ) 新聞、テレビなどマスコミで報道されていたから | 9 わからない ㉔ |
| 5 (オ) 身近に感染者がいる (いた) から | |

厚生労働科学研究費補助金 エイズ対策研究事業
男性同性間の HIV 感染予防対策とその推進に関する研究
－平成 15 年度 総括・分担研究報告書－

発行日 平成 16 年 3 月 31 日
発行者 主任研究者 市川誠一(名古屋市立大学)
発行所 研究班事務局
名古屋市立大学大学院看護学研究科感染予防学研究室
〒467-8601 名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄 1
TEL 052-853-8032

印刷 (有)長谷川印刷

本報告書に掲載された論文及び図表には著作権が発生しております。
複写等の利用にはご注意ください。